

創刊にあたって

広島修道大学では、2002年4月から、人間環境学部をスタートさせた。

人間環境学部は、人間の行動と環境のバランスが崩れ始めている現代において、人間と環境や自然との共生可能な社会を探究する学問体系の追求を目指すものである。学部の設置趣旨文から抜粋すれば「このような状況において、社会、文化、経済、政治、法律、自然などが複合的に関連する領域において、環境問題を総合的に把握分析し、人間と環境の新しい関係を探究し、有効な解決策を見出していくことが必要である」ということになる。その趣旨を達成するため学部の教育目標を、環境問題を生み出している社会や経済や政治の構造を分析し解決策を探究する能力、その能力を支える生命・環境重視の価値観や基礎となる自然科学的知識を身に付け、環境問題に適切な判断と行動が出来る人材を養成することにおいている。

このような教育目標を支えるスタッフの研究論文集として、このたび『人間環境学研究』が発刊されることとなった。関係者の方の御支援に感謝したい。本論集が、第1に人間環境学部という、まだ全国的にも数少ない新しい学部のパブリシティーをえる手段として働くこと、第2に環境のような学際的学問の発展を通じて、主として社会科学系の既存の学問体系に刺激を与える貢献が出来ること、第3に執筆スタッフの研究の深化を通して得られる学問成果や知見が、よりヴィヴィッドで具体性を持つ形で人間環境学の教育に反映されるのに役立つこと等ができればこれに勝る喜びはない。

読者各位のご意見や御叱正をいただければ幸いである。

2002年11月1日

人間環境学部長

時 政 昂